

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 14

プロフィール ▶ しまだ なみ 島田 奈実 (25歳) 埼玉県より移住

笠間を都内の方へご紹介

地域おこし協力隊全国サミットで知り合ったグループ「ご当地食器でご当地食材を楽しむ。」が笠間に興味を持ち、メトロミニッツ*とのコラボレーションイベントを都内で行いました。笠間焼のお猪口で笠間の4酒造の地酒を味わい、笠間焼の器に盛り付けられた茨城県の食材による創作フレンチを食す内容で、チケット販売開始からわずか2日で定員50名が完売し、追加募集しても即完売になる盛況ぶりでした。

イベントは9月9日に行われ、笠間をご存じでなかった方にも多くお越しいただきました。これから行われる笠間の秋のイベントに、今回の記事を目にして初めて笠間を知った方や参加した方が訪れてくれることでしょうか。このイベントを一緒に作った東京の仲間もまた笠間に来ることを楽しみにしてくれています。今回の大成功は、ご協力いただいた笠間の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

※メトロミニッツ…東京メトロ全8路線52駅の改札付近にある専用ラックに毎月20日、約10万部配布されているフリーペーパー。



メトロミニッツ笠間ページ



地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。笠間市では平成25年度から隊員を受け入れました。

ブログやフェイスブックもご覧ください

ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/> facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課(内線537)

笠間市協力交流研修員

テイン★&ピンボ

陶芸デビュー!

9月2日(火)、「製陶ふくだ」で行われた笠間公民館講座「生活陶器 de 乾杯」に参加し、初めての陶芸に挑戦しました。

私とテインさんは、湯呑みや食器(ボウル)などを作りました。ろくろを回して成形し、へらを使っての仕上げや模様付けなど繊細な作業はむずかしいと感じましたが、講師の方に丁寧に教えていただき、うまく作ることができたと思います。

焼きあがるのに約1か月かかりますが、作品が手元に届くのが今から楽しみです。好きなデザインや柄で、自分だけの笠間焼を作ることができ、とても楽しかったです。

静かな場所で陶芸体験ができたこと、そして、参加された市民の皆さんとの交流を図ることができとても幸せでした。

Sisavath Bimbo



ろくろに挑戦中▶

◀湯呑みができました!



笠間市協力交流研修員 ▶ テイン リン アウンさん(ミャンマー内務省職員)とシーサワット ピンボさん(ラオス・ルアンパバーン州職員)の2名が観光行政を中心とした研修に取り組んでいます。